

雨水浸水解析事業

令和2年1月8日
当初予算市長査定資料
建設局土木部河川課

◎事業の必要性

令和元年台風第19号では、過去に経験したことのない雨量を観測しました。

この降雨により、桜区では、多くの床下、床上浸水の被害が生じ、地元自治会からは、浸水対策の要望書が提出されました。

このことから、現在進めている、当地区内の本市河川整備事業が完了した際に、同規模の降雨があった場合の浸水解析を行うとともに、台風第19号と同規模の降雨による浸水対策の検討を行うものです。

◎令和2年度予算要求内容

予算要求額：20,000千円

桜区新開地区とその周辺において、油面川排水機場の整備や、鴻沼川沿川ポンプの修繕が完了した後の効果について、令和元年台風第19号の実績降雨を用いて、シミュレーションにより確認します。

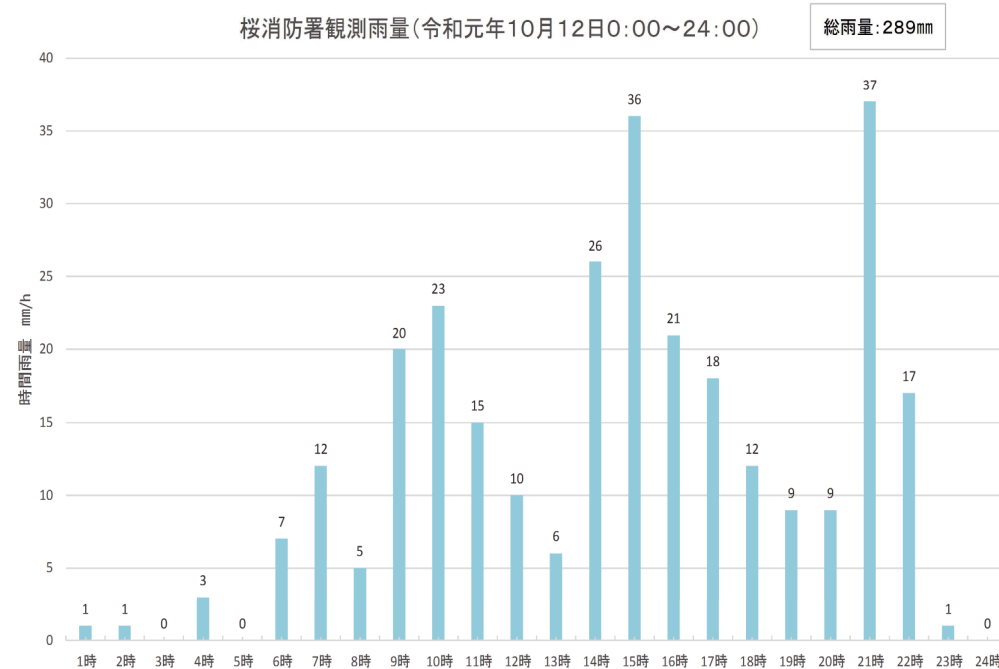
また、浸水対策案を検討し、対策案の効果について、同じく台風第19号の実績降雨を用いて、シミュレーションにより検証します。

◎台風第19号による桜区の被害状況

- 床上浸水：871件
- 床下浸水：287件
- ※罹災証明発行に基づく数値
- 道路冠水（通行止め）：15件

※記者発表資料

『令和元年度台風第19号による市内の状況等について（第19報）』より



桜消防署では、観測史上最大となる総雨量289mm（24時間）を観測しました。

